

**選択科目（2年次）****外科**（選択必修科目の項→p36を参照）

## I. 担当する診療科

外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科

## II. 研修期間

1ヶ月以上

## III. 指導スタッフ

	氏名	職名	医師登録年月	指導医講習
責任者・指導医	吉光 裕	副院長	1988.5	◎
指導医	前多 力	外科部長	1997.5	◎
	新保 敏史	外科医長	2007.4	
	材木 良輔	外科医員	2012.4	
	佐川 元保	外科非常勤医師	1982.5	◎

**選択科目（2年次）****小児科**（選択必修科目の項→p39を参照）

## I. 担当する診療科

小児科

## II. 研修期間

1ヶ月以上

## III. 指導スタッフ

	氏名	職名	医師登録年月	指導医講習
責任者・指導医	米谷 博	小児科医長	2002.5	◎

**選択科目（2年次）****産婦人科**（選択必修科目の項→p41を参照）

## I. 担当する診療科

産婦人科

## II. 研修期間

1ヶ月以上

## III. 指導スタッフ

	氏名	職名	医師登録年月	指導医講習
責任者・指導医	西本 秀明	産婦人科部長	1977.12	◎

**選択科目（2年次）****精神神経科**（選択必修科目の項→p45を参照）

## I. 担当する診療科

精神神経科

## II. 研修期間

2週間以上

## III. 指導スタッフ

	氏名	職名	医師登録年月	指導医講習
責任者・指導医	佐伯 善洋	小松市民病院精神神経科部長	2007.4	◎（見込み）

## VII. 行動目標 (→p12)

## VIII. 経験目標 (→p13~20)

### A. 経験すべき診察法・検査・手技

- (1) 医療面接：患者・家族との信頼関係を構築し、診断治療に必要な情報が得られるような医療面接を実施するために、
  - ・医療面接におけるコミュニケーションの持つ意義を理解できる。
  - ・病歴の聴取と記録ができる。
  - ・患者・家族への適切な指示。指導ができる。
- (2) 基本的な身体診察法：病態の把握ができるよう、全身にわたる身体診察を系統的に実施し、記録するために、
  - ・頭部の診察（甲状腺の触診を含む）ができ、記録できる。
  - ・胸部の診察（乳房の診察を含む）ができ、記録できる。
  - ・腹部の診察（直腸診を含む）ができ、記録できる。
- (3) 基本的な臨床検査：病態と臨床経過を把握し、医療面接と身体観察から得られた情報をもとに必要な検査を解釈するために、
  - ・以下の検査を自ら実施し、結果を解釈できる。  
動脈ガス分析、超音波検査
  - ・以下の検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる（下線は必ず経験すること）。  
血算・白血球分画、血液生化学的検査、細菌学的検査・薬剤感受性検査、肺機能検査、細胞診・病理組織検査、内視鏡検査、単純X線検査、造影X線検査、X線CT検査、MRI検査、核医学検査
- (4) 基本的手技：基本的手技の適応を決定し、実施するために、
  - ・圧迫止血法を実施できる。
  - ・注射法（中心静脈確保）を実施できる。
  - ・ドレーン・チューブの管理ができる。
  - ・胃管挿入と管理ができる。
  - ・局所麻酔法を実施できる。
  - ・創部消毒とガーゼ交換を実施できる。
  - ・簡単な切開・排膿を実施できる。
  - ・皮膚縫合法を実施できる。
  - ・軽度の外傷・熱傷の処置を実施できる。
- (5) 基本的治療法：基本的治療法の適応を決定し、適切に実施するために、
  - ・療養指導（安静度・体位・食事・入浴・排泄・環境整備を含む）ができる。
  - ・薬剤の作用、副作用、相互作用について理解し、薬物治療ができる。
  - ・基本的な輸液療法ができる。
  - ・輸血（成分輸血を含む）による効果と副作用について理解し、輸血治療ができる。
- (6) 医療記録：チーム医療や法規との関連で重要な医療記録を適切に作成し、管理するために、
  - ・診療録をPOSに従って記載し、管理できる。
  - ・処方箋、指示箋を作成し、管理できる。
  - ・診断書、死亡診断書、死体検案書他の書類を作成し、管理できる。



甲状腺穿刺吸引細胞診